

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20・23	入居者の状態像を深く知り、リアルタイムに情報が更新できるようなシステム作りが必要。把握した情報をもとに、ケアの統一や外出支援に向けた取り組みを考えていく必要がある。	現在の状態像を再アセスメント、更新し、入居者が何を求めているか把握し、ケアに繋げていく。	① センター方式内のC-1-2「私の姿と気持ちシート」を活用し、再アセスメントと随時更新を行う。 ② アセスメントからケア内容を担当者会議・ユニット会議を活用し、検討する。 ③ 馴染みの場所への外出支援。	6ヶ月
2	33	看取り加算はいつでも取れるよう準備を進めているが、看取りに関しての意向確認と職員への教育の設けることで、ソフト面での準備を進める必要がある。	看取り対応ができるよう、ハード面、システム面、ソフト面の見直しが必要である。	① 看取りに関する職員研修の実施。 ② 往診医と看取りに関する見解の統一を図る。 ③ 看取りに関する書類について、年度更新と見直し、修正を行う。	12ヶ月
3	10	事業所の課題や問題点について、広く意見を募り、業務改善や日々の振り返りの機会を作る。ご家族様・地域の方々からの声を広く集める。	ご家族様や地域の方々からの声を集め、事業所の運営、業務改善等に繋げていく。	① 運営推進会議の場を活用する。 ② 利用満足度調査(アンケート)の実施。 ③ 意見箱の回答を事業所内に掲示し、声を集める。	12ヶ月
4	35	自然災害により、事業所から外部へアクセスできなかった想定防災訓練を実施することで、こういった問題の発生が考えられるか、検討・準備しておく必要がある。	外部へ出られなくなった想定防災訓練の実施。	① 併設事業所と連携をとり、防災訓練を実施する。 ② 防災訓練の実施により、見えた課題について検討・解決に努める。 ③ 備蓄の状況を把握し、有事の際に備える。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。